

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

具体的には、賃金の引上げについて、様々な領域で成果を発揮する社員へ、その貢献と成果に報いるために、社内外の動向を踏まえた処遇水準の見直しや評価運用の整備に取り組んでまいります。また、人材投資については、多様な個性の成長を支援し「なくてはならぬ人」として輝かせるために、「キャリアを自分で描いていく」ためのキャリア拡大支援プロジェクト、自ら手を挙げてチャレンジできる公募型研修など、各種教育プログラムをさらに拡充させ、誰もが意欲に応じて自らの成長を実感できる環境を一層整備し、「働きがい」「パフォーマンス」の向上に努めてまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日
【2022年12月28日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL
【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/22278-10-00-tokyo.pdf>】

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和6年3月8日

株式会社アダストリア 代表取締役社長 木村 治